ME-BYO サミット神奈川 2026　大会メッセージ

2015 年の未病サミット神奈川宣言における、
・健康と病気の間で連続的に変化する「未病コンセプト」
・未病の行動の選択権と決定権は、受益者であり負担者でもある自己に帰属し、個人の行動変革を学術・医療・産業・行政が支えていく
という考え方は、未病社会システムの実現に向けた多くの革新的な取組につながってきた。

ヘルスケア・ニューフロンティアの多様なイノベーション

最先端医療・最新技術の追求と未病の改善を融合し、基幹産業の創出・育成と健康長寿社会の実現を目指すヘルスケア・ニューフロンティアでは、市町村と県等の連携による県民の行動変容促進、殿町や湘南のイノベーション拠点の形成、未病指標の社会実装、未病産業の育成と地域展開、ヘルスイノベーション人材の育成などを推進。

当事者目線の未病改善を大切にした産学公民連携の展開

当事者の行動変容による未病改善に加え、地域コミュニティで楽しみながら取り組める、多様な未病産業の有用性にも着目。

医療は疾病リスクの可視化や未病改善サポートで寄り添い、学術は未病改善の有効性やパーソナルエビデンスの評価を、行政は総合コーディネートを担う、産学公民が連携した取組を展開。

○ 神奈川発の「未病社会システム」モデルの実践と展開

これらの先進的な取組を、地域社会の課題解決と未来創造に発展させていくため、産学公民それぞれの強みが活きる形で連携させ、一体的・持続的に機能する「未病社会システム」モデルとして実践し、広く地域に展開していく。

○ 未病改善の努力が報われる仕組みの具体化に向けた挑戦

個人・組織・専門家それぞれの未病改善活動の努力が報われる仕組みの具体化に向けて、大学や医療機関による検証と実践、マネタイズも考慮した民間の多様な取組の推進、データとエビデンスに基づく価値の可視化等を進めていく。

“Vibrant INOCHI”　いのち輝く未来社会のために

神奈川が地域や国際社会との共創により実践してきた当事者目線の未病の取組は、個人を基軸に、豊かな地域コミュニティの醸成、地球環境とも調和する「プラネタリー・ヘルス」の取組にも発展していく。私達は、“Vibrant INOCHI”の理念を究極の目標に、絶え間ない挑戦を続け、多様な価値を創造して、未来を切り拓いていく。

2026 年 11 月 5 日

松本 洋一郎　黒岩 祐治　大谷 泰夫　鄭 雄一　John Eu-Li Wong　Ronald Pearl
ME-BYO サミット神奈川実行委員会